

別紙3 ホームページ仕様書

1. 概要仕様

ホームページは、図書館としてインターネットを通じた町民の方への重要な紹介の場である。

より多くの町民の方や幅広い階層の利用拡大に繋げるため、また、ユニバーサルデザインにも配慮したシステムを提供すること。

機能については、以下の「2. 詳細機能要件」をすべて満たすこと。

2. 詳細機能要件

- (1) 高齢者や障害者などを含む誰もが支障なくホームページを利用できるようにサイトを構築し、日本工業規格 JIS X 8341-3:2016（以下「JIS 規格」という。）の適合レベル AA に準拠すること。
- (2) PC、携帯電話、スマートフォン、タブレットなど、それぞれに対応した画面構成にできること。（レスポンシブルデザイン対応）
- (3) グローバルナビゲーション機能を備えていること。
- (4) 子どもページを一般ページとは別のデザインで作成すること。また、子ども、中・高校生の利用者目線にたって図書館を活用したくなるような、独自のコンテンツを提案すること。
- (5) 編集作業効率の向上のため、CMSを導入すること。

1) アクセシビリティ機能

- ① アクセシビリティに配慮した文字の大きさ、配色で情報を掲載できること
- ② 閲覧者が任意に文字の大きさや表示の拡大・縮小の選択ができること。
- ③ 「音声読み上げ」に配慮した構造などアクセシビリティに対応した HTML とすること。
- ④ 画像等で視覚障がいの方が読み上げることができる代替テキスト(ALT 属性)が入力されていない場合は、警告を表示すること。
- ⑤ 色に於いてアクセシビリティを確認するためにモノクロ及び色の反転による表示確認できること。

2) お知らせ・イベント機能

- ① ページの更新日は自動で表示されること。または、それぞれ任意の日時に設定ができること。
- ② ページ作成時に公開日時・終了日時を指定して、自動公開・自動終了ができること。
- ③ 新しいお知らせは NEW マークの自動表示ができること、また掲載日数が指定できること。
- ④ 公開終了日時に達したコンテンツは自動的に非公開が行われる。
- ⑤ 通常のお知らせ機能とは別枠で、緊急のお知らせを表示できる機能を有すること。また、緊急のお知らせは固定で表示ができること。

3) ページ編集機能

- ① 文章を入力するフォームでは、HTML 言語を意識することなく、見出し、段落を適応した文章のほか、表、画像ファイル、各種添付ファイル（Word・Excel・PDF 等）などを簡単に設定でき、一般的なワープロソフト（Word・Excel）に近い感覚で操作できること。
 - ② プレビュー機能があり、どのように公開されるのか、都度確認ができること。
 - ③ PDF が簡単にアップロード可能で、ファイル形式、容量が自動で掲載できること。
 - ④ バナー画像を容易に公開でき、バナーの公開開始日、終了日の設定ができること。
- (6) 操作研修、アクセシビリティ研修を行うこと。
 - (7) 導入後、更新は職員にて簡易にできるように設計されていること。
別途費用が発生しないこと。
 - (8) 保守内容は、バナー制作など簡単な更新を年 2 回程度及び操作説明（電話、メールでの対応）をすること。

以上